


型番	SI-50		
お客様	ご住所	〒□□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名	TEL. 

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

■この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはシユアーお客様ご相談センターへお問い合わせください。

■お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合は、本保証書記載内容によりお買い上げの販売店が無料修理いたします。

■左の欄に記入のない場合は有効とはなりませんから必ず記入の有無をご確認ください。もし記入がない場合は、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
イ)使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
ハ)火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
ニ)車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ホ)一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障及び損傷

- ヘ)腐食による故障及び損傷
ト)プラスチックの表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
チ)本書のご提示がない場合
リ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
ニ)本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only with in Japan.
ロ)本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
七)出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。

年月日	サービス内容	点検印
・		
・		
・		

株式会社 石崎電機製作所

シユアーお客様ご相談センター
048-931-3110〒340-0807
埼玉県八潮市新町9
受付時間：
月～金の9時～12時/13時～17時
※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除くスチームアイロン
SI-50
取扱説明書

このたびはスチームアイロンSI-50をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

01~04 安全上のご注意

05~06 各部の名前とはたらき

06 温度設定の仕方

07~11 ご使用方法

12 お手入れと保管

13 故障かな?と思ったら

14 仕様

14 保証とアフターサービス

裏表紙 保証書



⚠ 注意

やけどに注意!
アイロンのかけ面、スチームに触れない。高温によるやけどの原因になります。

スチームを人に向けて噴出しない。
スチームに触れると、やけどの原因になります。



禁止

タンク内部に若干の水 droplets が付着している場合がありますが、スチーム検査を行っているため、異常ではありません。

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の

大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

・電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。

・コゲくさい臭いがする。

・電源コードや差込プラグが異常に熱い。

などの症状が出たら、すぐに販売店またはシユアーお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

子供だけで使わせたり、取り扱いに不慣れな方の使用や、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

スチームを人に向けて噴出しない。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



禁止

シユアーお客様ご相談センター
048-931-3110



必ず行う



プラグを抜く

警告 取り扱い・使い方

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない。または改造しない。

異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



分解禁止

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。

火災の原因になります。



禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

濡れた手で温度調節ダイヤルの操作をしない。感電の原因になります。



濡れ手禁止

警告 電源・コード

電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因になります。



必ず行う

差込プラグのほこりなどは定期的に拭きとる。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグをもって引き抜く。

感電・ショート・故障の原因になります。



必ず行う

使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

電源コードに足などを引っかけない。けがや故障の原因になります。



禁止

差込プラグにピンやごみを付着させない。感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

差込プラグをなめさせない。

乳児が誤ってなめないように注意する。

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重たいものを載せたり挟み込んだりしない。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



濡れ手禁止

電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

△ 注意 使用場所

風呂場やシャワー室などの
湿気の多い場所でアイロンかけはしない。
火災・感電の原因になります。



風呂・シャワー室での使用禁止

壁や家具の近くでは使わない。
熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



禁止

不安定な場所の上では使用しない。
毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。



禁止

火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多いところ、水のかかるところでは使用しない。
故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の原因になります。



禁止

ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では使用しない。
火災の原因になります。



禁止

△ 注意 やけど・けがを防ぐために

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンがけをする。
スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因になります。



確認

注水や排水のときは、差込プラグを必ずコンセントから抜く。
感電の原因になります。



必ず行う

熱いスチームに触れない。
やけどの原因になります。アイロン台によっては、スチームが透過する場合があります。



接触禁止

使用中・使用直後は高温部(かけ面)に触れない。
やけどの原因になります。



接触禁止

アイロンがけ及びスチームがけ以外の目的で使用しない。
過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。



禁止

着用したままの衣類にアイロンがけ及び、スチームをかけない。
やけどの原因になります。



禁止

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない。
やけどの原因になります。



禁止

パイロットランプ点灯中はショットボタンを押さない。
スチーム噴出孔から湯滴が出てやけどの原因になります。



禁止

△ 注意 発火・火災を防ぐために

通電したまま放置しない。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



禁止

アイロンの近くで可燃性ガスなどが発生するものを使用しない。
火災の原因になります。



禁止

熱い状態のアイロンに電源コードを巻き付けない。
ショート・発火することがあります。



禁止

引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない。
ショート・発火することがあります。



禁止

△ 注意 取り扱い

水は水道水を使用する。
ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン製水器の水、香料を含んだ水を使うと、水アカがたまって腐食や故障の原因になります。



必ず行う

アイロンかけている衣類などが異常に発煙したり発火した場合は、アイロンを衣類から離し、すぐに温度調節ダイヤルを『切』にし、差込プラグを抜く。
火災の原因になります。



必ず行う

衣類などに付いているアイロンマーク(絵表示)を必ず守る。
衣類などのこげ・変質などの原因になります。(絵表示の説明は P.6 をご覧ください。)



必ず行う

水タンクへの注水は「MAX」目盛りまで。
目盛り以上に入れると、使用中に水がこぼれる原因になります。



必ず行う

落下などにより本体が破損した場合は、修理の依頼を行う。
感電事故の原因になります。



必ず行う

お手入れのときは、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行う。
感電事故の原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、水タンクの水を抜いて保管する。
水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。



必ず行う

アイロンを運ぶときは、十分に冷えていることを確認する。
けがや、やけどの原因になります。



必ず行う

業務使用は行わない。
一般家庭用のアイロンです。
ご使用方法を理解せずに不特定多数の方や業務でご使用されることはアイロンの早期故障や重大事故につながります。



禁止

ボタン・ファスナーなどの固いものにアイロンかけはしない。
かけ面の傷付き・コーティングの剥れの原因になります。



禁止

落としたりぶついたりしない。
感電・発火の原因になります。



禁止

市販のかけ面カバーや、スチーム噴出孔を布で覆って使用しない。
故障の原因になります。



禁止

スチーム使用のときは、スプレーのりを使用しない。
かけ面にのりが付着し、アイロンかけがスムーズにできなくなることがあります。



禁止

水をこぼさない。誤動作の原因になります。
水がこぼれたときは、布で拭き取ってから使用してください。



水濡れ禁止

本体に水がついた状態で使用しない。
ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しない。
スチームにより縮む恐れがあります。



禁止

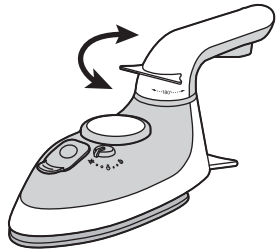
熱や湿り気に弱い壁紙の近くではスチームを使用しない。
スチームによりダメージを受ける可能性があります。



禁止

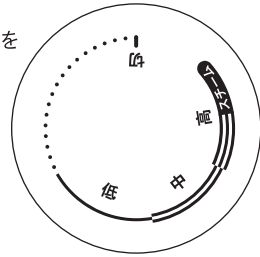
各部の名前とはたらき

ハンドル
180°回転させて使用することができます。

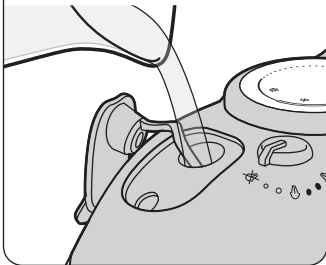


ショットボタン
ボタンを押すと、スチーム噴出孔よりショットスチームが噴出します。

温度調節ダイヤル
繊維に合わせて温度調節をします。



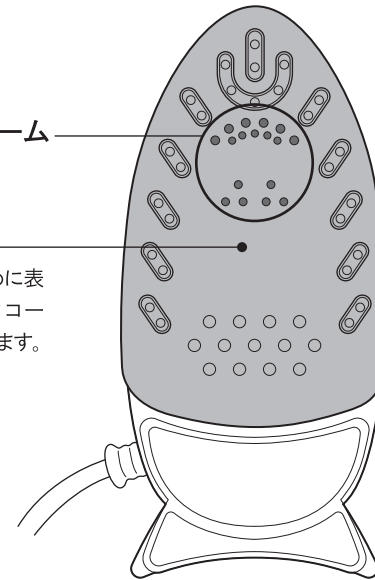
注排水フタ
注排水フタを開け、給水カップで水を給水します。使用後、残った水をここから捨てます。



パイロットランプ
点灯・消灯により温度を調節していることをお知らせします。

スチーム/ショットスチーム噴出孔

かけ面
滑りをよくするために表面にはセラミックコーティングがしてあります。



付属品



給水カップ 1個
1回の給水で水タンクを満水(約50ml)にできます。

温度設定の仕方

温度設定の仕方

温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約80℃~130℃	約130℃~160℃	約160℃~200℃
絵表示	新表示 		
	旧表示 		
衣類・布地の種類	アクリル アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン ビニロン レーヨン キュプラ アセテート ポリエステル	綿・麻 ポリノジック

絵表示の見かた



アイロンかけ禁止です。

水タンク

スチーム調節ダイヤル
スチームの量を調節します。



多い



少ない



ドライ
(スチームなし)

MAX目盛り
満水は約50mlです。MAX目盛り以上に水を入れないでください。水漏れの原因になります。

電源コード
約3.0mのゴムコードです。

差込プラグ
定期的にはこりや汚れを取り除いてください。

⚠注意

おかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い温度調節ダイヤルで温度設定を合わせてください。

絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定を温度調節ダイヤルで合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

低温・中温および熱に弱い布地には「あて布」をするか「ためしかけ」をしてください。布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。

布地に合った温度設定でアイロンかけをしても、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると布地をいためる事がありますので注意してください。

スチームアイロンとしての使い方

1 水タンクに給水する

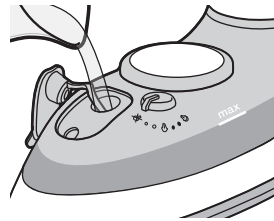
1 温度調節ダイヤルを『切』にしてアイロンを水平に置き、ハンドルを時計回りに180度回転させ、注排水フタを開きます。

※差込プラグをコンセントに入れる前に水を注水してください。



2 給水カップでMAX目盛り以下まで水をゆっくり入れます。

※スチーム調整ダイヤルは必ずドライ『☀️』にしてください。



3 給水が終わったら、注排水フタを確実に閉め、ハンドルを反時計回りに回し、元の状態に戻します。

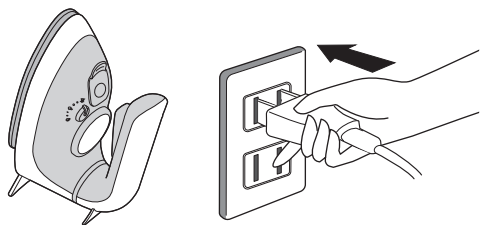


△注意

- スチーム調整ダイヤルは必ずドライ『☀️』にしてください。ドライ『☀️』位置以外で注水すると、かけ面のスチーム噴出孔から水滴が漏れることがあります。
- 水は、水道水を使用してください。次の水は入れないでください。ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン製水器の水、香料を含んだ水など。
- 水タンクに水を入れる際は、必ず付属の給水カップをご使用ください。直接、水道から水を入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショートの原因になります。

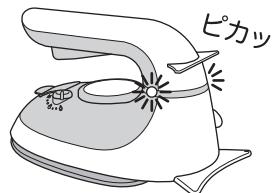
2 温度設定をする

1 アイロンを立てて置き、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



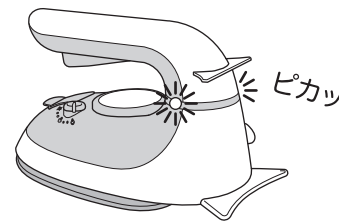
2 温度調整ダイヤルを『スチーム』位置内に合わせると、パイロットランプが点灯します。(P.6の温度設定の仕方を参照します。)

※スチーム位置以外の温度でスチームを使用するとかけ面のスチーム噴出孔から湯滴が漏れることがあります。



3 アイロンかけをする

1 適温になるとパイロットランプが消えて使用できます。加熱通電中はパイロットランプが点灯します。



2 アイロンを水平にして、スチーム調整ダイヤルを『☁️』～『☁️』に合わせてスチームを出しながらアイロンかけをします。

※スチームの噴出量をスチーム調整ダイヤルで行ってください。

※スチームは高温ですので、やけどには十分注意してください。

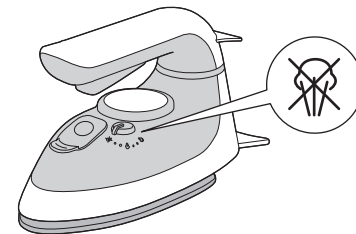


△注意 スチームを使用する際は、ご使用前にショットスチームを2回以上噴出させ、スチームの流れをよくしてから開始してください。布地の目立たないところで試しがけをしてからお使いください。

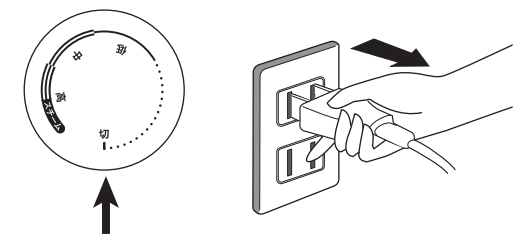
△注意 アイロン使用中に、立てて置くときはショットボタンを押さないでください。スチームが噴出し、やけどの恐れがあります。

4 使用後

1 スチーム調整ダイヤルをドライ『☀️』に合わせてスチームを止めます。

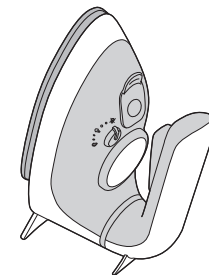


2 温度調整ダイヤルを『切』にして、差込プラグをコンセントから抜きます。



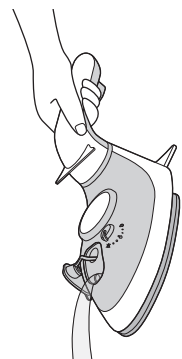
3 かけ面が冷えるまで安全な場所に立てて置きます。

※かけ面が冷めるまで近づかないで下さい。やけどの原因になります。



4 かけ面が完全に冷えたらハンドルを回し、注排水フタを開け、水を捨てます。

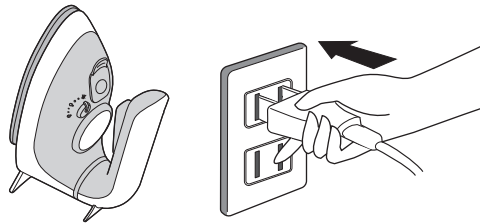
※腐食防止のため必ず行ってください。



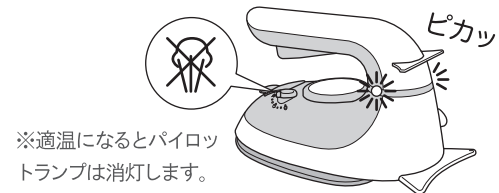
ドライアイロンとしての使い方

1 温度設定をする

- 1 アイロンを立てて置き、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



- 2 スチーム調節ダイヤルをドライ『☀️』の位置にし、温度調節ダイヤルを布地に合わせて回します。パイロットランプが点灯します。(P.6の温度設定の仕方を参照します。)



※適温になるとパイロットランプは消灯します。

2 アイロンかけをする

- 1 アイロンかけをします。

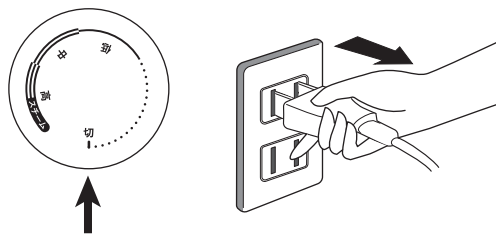


△注意

- スチーム調節ダイヤルがドライ『☀️』になっていることを確認してください。スチームが噴出される場合があります。
- スチームが出る場合は、スチームが出なくなるまで待つから、アイロンかけをしてください。
- ドライで使用する場合は、水タンクに水が入っていないことを確認してからコンセントを差し込んでください。
- ショットボタンを押さないでください。
- 高温状態でハンドルを回さないでください。やけどの原因になります。

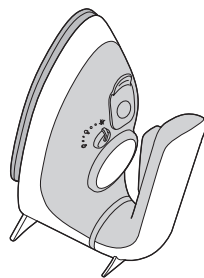
3 使用後

- 1 温度調整ダイヤルを『切』にして差込プラグをコンセントから抜きます。



- 2 かけ面が冷えるまで安全な場所を立てて置いてください。

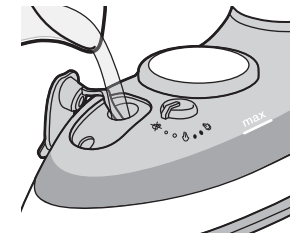
注: かけ面が冷めるまで近づかないで下さい。やけどの原因になります。



衣類スチーマーとしての使い方

1 水タンクに給水する

- P.7の1 水タンクに給水する を参照し、水タンクに給水します。

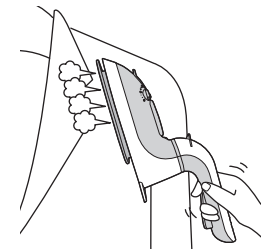


3 スチーマーかけをする

- 適温になるとパイロットランプが消えて使用できます。ショットボタンを押すとショットスチームが出ます。

※使用中にパイロットランプが点灯したら消灯するまでお待ちください。

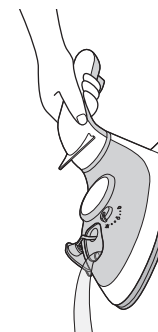
※2、3秒に1回のペースでショットスチームを出してください。



4 使用後

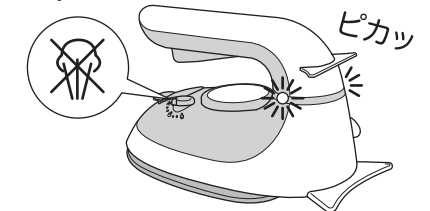
- P.8の4 使用後 を参照し、かけ面が冷えたら安全な場所を立てて置き、適切に使用後の処理を行ってください。

※腐食防止のために、水タンク内の水は必ず捨ててください。



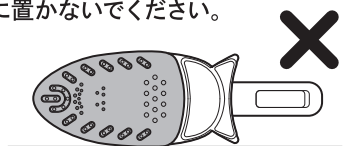
2 温度設定をする

- P.7の2 温度設定をする を参照し、温度調節ダイヤルを『スチーム』の位置内に合わせます。このときスチーム調節ダイヤルは必ずドライ『☀️』にしてください。



△注意

- 高温状態でハンドルを回さないでください。やけどの原因になります。
- 皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しないでください。
- かけ面が熱い状態で本体から手を離すときは、下記のように机や床等に置かないでください。

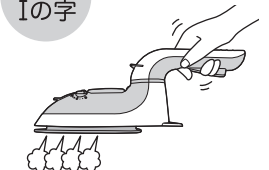


4通りの使い方ができます

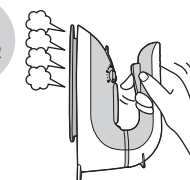
水平Uの字



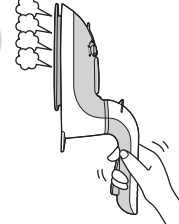
水平Iの字



垂直Uの字

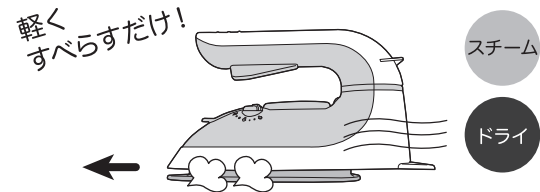


垂直Iの字

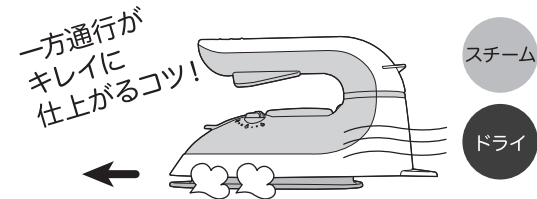


アイロンの上手な使い方

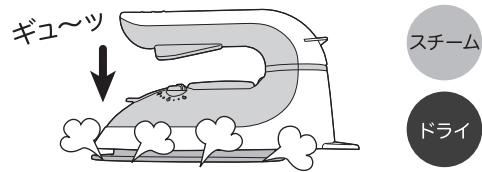
必要以上の力をかけないで、衣類の上をすべらすように軽くかけるだけで十分です。



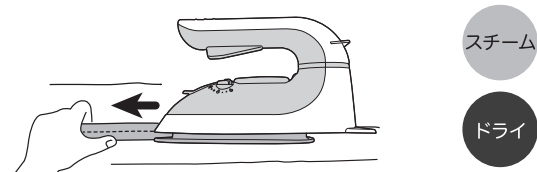
アイロンを往復させたりすると余分なシワができます。一定方向に動かしましょう。



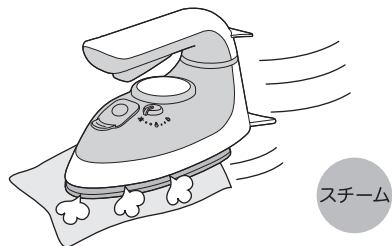
とくに折り目をはっきりつけたい所やガンコなシワの部分はしっかり押さえます。



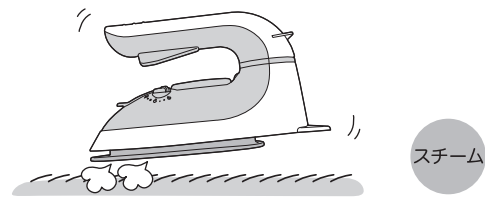
衣類の縫い目に合わせ、縫い目を引っ張り気味にかけるのがポイントです。



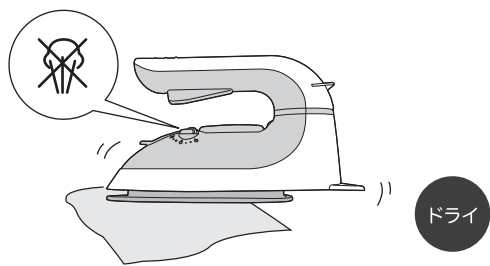
適度な温度と湿り気でサッと仕上げるのがコツです。



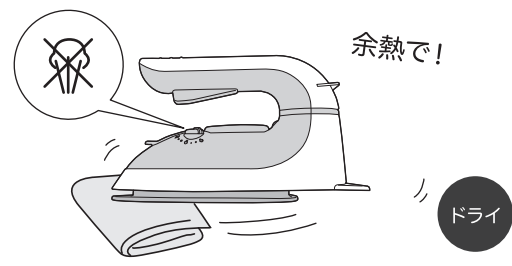
ウールやセーターのような毛足の長い繊維には「浮かしかけ」をしてスチームを当てます。



アイロンかけは、ドライで低温の布地から。繊維をいためる恐れもなく、早くできます。



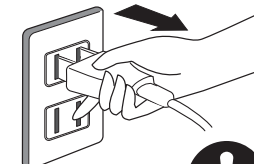
ハンカチなどの小さいものは、電源を切ったあとの余熱を、ドライで利用ください。



警告 お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。必ずかけ面が十分に冷めてから行う。ご使用後、手をかざし熱さを感じた時は、冷めるまでお手入れを行わない。やけどの原因になります。

注意

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。濡れた手で抜き差しをしない。ショート・感電やけがの原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

ご使用ごとに、やわらかい布か、濡れた布で拭き、最後から拭きしてください。



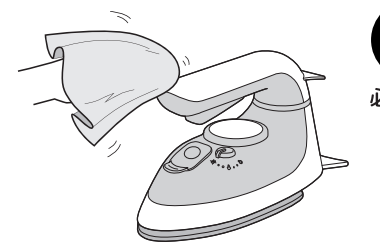
金属製のたわしやナイロンたわし、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、アルカリ性洗剤、磨き粉などは使用しない。傷や表面加工が剥がれる原因になります。



禁止

本体のお手入れ

本体・かけ面の汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取り、最後から拭きをしてください。

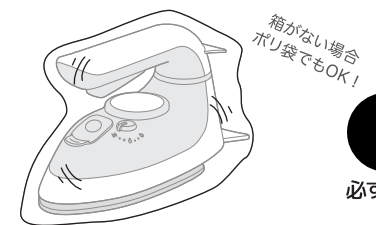


スチーム噴出孔のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。目安は3、4ヶ月に1回です。

保管

※保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。

- ・温度調節ダイヤルは必ず『切』にしてください。
- ・スチーム調節ダイヤルは必ずドライ『☒』にしてください。
- ・保管の際は、商品の入っていた箱にクッション材と共に収めてください。
- ・箱がない場合はポリ袋等に収めて保管してください。
- ・湿気の少ないところに保管してください。
- ・保管時は上に物を乗せたりしないでください。
- ・コードは束ねて保管してください。



故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	症状										原因・処置	
	熱くならない	かけ面が スチームが出ない	少ない スチーム量	ショットが出ない	少ない ショット量	スチーム噴出孔 から水が漏れる	かけ面の腐食	スチーム噴出孔 のつまり	かけ面が滑らない	布地が こげたり、縮む		白い粉が出たり ニオイがする。
差込プラグ	●	●		●		●						差込プラグはコンセントに根本まで差し込まれていませんか? 処置 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
温度調整 ダイヤル	●	●	●						●			ダイヤル目盛りは布地に合った適切な位置になっていますか? 処置 ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。
		●	●	●	●	●						温度調整ダイヤルが「スチーム」位置になっていますか? 処置 ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。
パイロット ランプ		●		●		●						パイロットランプが点灯していませんか? 処置 パイロットランプが消えて適温になってから使用してください。
スチーム 調整ダイヤル		●	●									スチーム調整ダイヤルは適切な位置になっていますか? 処置 スチーム調整ダイヤルを『🔥』～『🔥🔥』に必ず合わせてください。
							●					注水時、スチーム調整ダイヤルが『🔥🔥』～『🔥🔥🔥』になっていませんか? 処置 スチーム調節ダイヤルを必ずドライ『☀️』に合わせてから注水してください。
ショット ボタン				●	●	●						温度調整ダイヤルが「スチーム」位置になっていますか? 処置 ①ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。 ②パイロットランプ消灯後、ショットボタンを数回押ししてください。
スチーム 噴出孔		●	●	●	●		●					スチーム/ショット噴出孔のお手入れをされていますか? 処置 P.12の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
使用後の 排水						●					●	前回ご使用の水が水タンクに残っていませんか? 処置 使用後は必ず水を捨ててください。
かけ面									●			かけ面に何か付着していませんか? 処置 P.12の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
											●	水に含まれる鉱物質などが出るもので、異常ではありません。白い粉が衣類についた場合、払うと取れます。
繊維製品の 絵表示									●			布地に合った温度設定になっていますか? 処置 P.6の「温度設定の仕方」を参照して適温に合わせて直すか、あて布をしてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

詳しくは、P.14「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕様

定格	100V-900W 50/60Hz	蒸気発生方法	滴下式
寸法	長さ192 x 幅89 x 高さ110 mm	電源コード	約3.0m
質量	約0.54kg (約0.72kg 電源コードを含む)	温度過昇防止装置	温度ヒューズ 240℃
かけ面の面積	約103cm ²	温度設定範囲	約80℃～200℃
水タンク容量	約50ml	付属品	給水カップ(約50ml)

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談

まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。

保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間:お買い上げ日から1年間

詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

修理を依頼されるとき

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いてお買い上げの販売店、電気店またはシユアお客様ご相談センターへお問い合わせください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げ販売店が修理させていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。
注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

長年ご愛用のスチームアイロンの点検を!

このような症状はありませんか



- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。

このようなときは、ご使用中を中止してください。事故防止のため、必ず販売店に点検修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所

東日本営業所

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15
TEL.03-5687-7031

西日本営業所

〒550-0013
大阪市西区新町1-25-7
TEL.06-6541-3893